

WTI原油価格推移(2007~2009)

価格(\$/BBL)

<参考>	08年12月	09年1月
WTI(\$/B)	41.4	44.12
為替(円/\$)	92.5	91.4

2008年最高値
瞬間ベース: \$147.27 (7/11)
終値ベース: \$145.29 (7/3)

2007年最高値
瞬間ベース: \$99.29 (11/21)
終値ベース: \$98.18 (11/23)



ドル安や米欧の金利格差拡大観測に加え、NYダウ株式市場が年初来の安値を記録したことで商品先物への投機マネー流入が加速。史上初の\$140を突破。

イラン情勢がやや落ち着きを見せたこと、米国で投機抑制法案が検討されていること、米景気減速に起因する石油需要減退を嫌気し、大幅下落。

米景気の先行き不安を背景に、ドル安やインフレ懸念が高まり、投機資金が商品先物市場に流入し、連日過去最高値を更新。

欧州の景気後退が鮮明となり、ドルが対ユーロで反発した他、世界的な需要懸念が広がり、下落。

将来の供給逼迫懸念を背景にゴールドマンサックスらが原油価格見通しを引き上げたことを受け、原油市場に投機資金が流入し、上昇

需要減少懸念が拡大。また、16年ぶり英3Q・GDPマイナス成長等、欧州経済減速感の高まりからユーロ安ドル高が急速に進行したこと等を受け下落。

ナイジェリアからの供給懸念が高まったことや、ドルが対ユーロで最安値を更新したことを受け、上昇

リーマンブラザーズ破綻等による金融市場の混乱で、投機マネーが債券市場などの安全資産へと逃避したため、下落

米国の景気先行き懸念を受け、エネルギー需要も減少するとの観測から下落

需要低迷により米原油在庫が大幅に積みあがっていること、景気低迷の長期化による需要見通しの下方修正等を材料に続落。

日欧のリセッション入り、米国のGDPマイナス成長等、経済減速長期化懸念拡大により下落。